

2010年9月24日
株式会社日立製作所
パナソニック株式会社

日立とパナソニックが低炭素社会の実現に向け 中国などにおけるスマートコミュニティ事業で協業

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)とパナソニック株式会社(代表取締役社長:大坪 文雄/以下、パナソニック)は、このたび、低炭素社会の実現に向けて、グローバル市場でのスマートコミュニティ関連事業において、協力関係を構築することで合意しました。具体的には、日立が強みを持つコミュニティエネルギーマネジメントシステム(以下、CEMS)の技術と、パナソニックが強みを持つホームエネルギーマネジメントシステム(以下、HEMS)技術を基に、CEMSとHEMSの実用化と普及をめざして、インターフェイスの共同開発や標準化への取り組みなどを推進していきます。

スマートコミュニティは、「低炭素社会」を実現する持続可能な社会システムの重要な要素の一つです。それは、次世代電力網であるスマートグリッドを中心とした電力システム、交通システム、上下水道処理施設などの社会インフラやビル、住宅などを情報通信技術でつなぎ、全体を最適に制御することにより、人々が生活する空間を安全・安心で、快適なものとして維持させながら、CO₂削減などの環境負荷の最小化や、総合的な社会コストを抑制するものです。

そのスマートコミュニティを実現するためには、エネルギーの供給側から需要側までのすべてのシステムを連携させた上で、地域内でのエネルギー需要の調整、機器・設備の監視、運用や付加価値サービスの提供、各家庭での効率的なエネルギーの管理を行うことが必要であり、このようなエネルギー管理のためのシステムがCEMSやHEMSです。

CEMSは、風力発電、大規模太陽光発電などの新エネルギー発電も含めた発電設備からの系統電力の供給側と、戸建て住宅、マンションやオフィスビル、電気自動車(EV)充電システムなどの需要側のさまざまなシステムを連携させ、管理・運用するシステムです。また、HEMSは、各家庭の家電製品、太陽光発電機器、家庭用EV充電器や蓄電池などの設備機器をつなぐことで、家全体のエネルギー使用量、省エネ目標値の達成状況やアドバイスを見える化し、家庭内の省エネをサポートするシステムです。

今回、これまでそれぞれで開発してきた日立のCEMS技術とパナソニックのHEMS技術を基に、日立が環境技術および環境ソリューションの提供について協力している「中国・シンガポール天津エコシティ」(中国名:中新天津生態城)や、そのほかのプロジェクトにおいて、日立とパナソニックはCEMSとHEMS間のインターフェイスの国際標準化の共同研究開発を視野に入れたアクセス方式の

共有化を行うとともに、CEMS および HEMS 関連事業の市場情報の共有などを実施していきます。

日立は、スマートコミュニティ関連事業を社会イノベーション事業の拡大における成長エンジンと位置づけ、今まで培った情報通信、情報制御や社会インフラ技術をはじめとする日立グループの持つ様々な技術を融合し、環境配慮型次世代都市の実現に向けて、電力、ガス、熱、交通、上下水道処理などの社会基盤を総合的に提供するため、日立グループを横断する社長直轄の組織である「スマートシティ事業統括本部」を2010年4月1日に設置し、現在、国内外の実証実験、大型エコシティプロジェクトに参画しています。

パナソニックは、エネルギーシステム事業をグループのフラッグシップ事業と位置づけ、「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」の各機器と、それらをつなぐ、HEMS などエネルギーマネジメントにより、エネルギーソリューションを提供していきます。既に、HEMS については、日本での展開や欧州でのスマートグリッド連携などを始めています。また、2010年4月1日には、「エネルギーソリューション事業推進本部」を設置し、事業横断展開により、家、ビル、そして街へと広がる「まるごとエネルギーソリューション」を提供してまいります。

今回の提携により、日立とパナソニックは、スマートコミュニティ事業において、それぞれの技術を結集することで、地域および家庭内のエネルギーマネジメントに寄与し、低炭素社会の実現に貢献していきます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
